

2013-2014 年度  
国際ロータリー第 2500 地区・2510 地区  
第 12 回北海道ローターアクト交流会

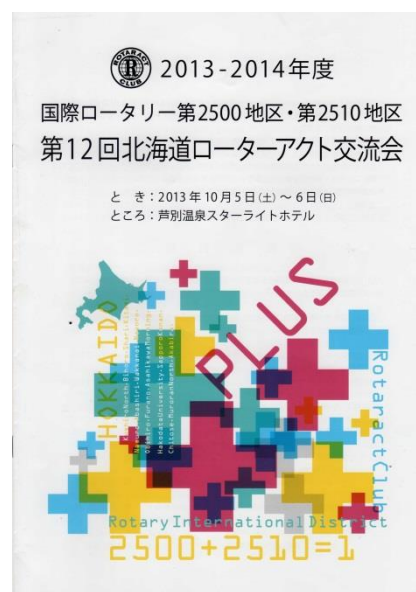
第 2510 地区ローターアクト委員長  
坂井 治

北海道は 2500 地区と 2510 地区に分かれており隣同士の地区にもかかわらず交流や共同の事業がほとんど実施されていませんでした。

平成 12 年 10 月 21 日に友好調印式が行われ交流会の実施・継続内容などの検討をされた結果、情報交換や親睦を深めること、職場やローターアクト活動に良い影響を与えることを目的として、平成 14 年 11 月 23 日・24 日に第一回の交流会が釧路の地で開催されました。

その後毎年両地区の持ち回りで開催され第 12 回を迎えた本年は 10 月 5 日・6 日に 2510 地区赤平ローターアクトクラブのホストにより芦別温泉スターライトホテルで開催されました。

西村地区代表の点鐘、両地区の参加者紹介がそれぞれの地区代表によって行われた後、地区代表の挨拶に続き安孫子ガバナーのご祝辞を頂くなど厳粛に開会式が行われました。



開会式終了後約 70 名の参加者とオブザーバーのロータリアンは二手に分かれものづくり体験に向かいました。

一つは「武藤工業」での「木」のスポーツカー作り、もう一方は「鞆のいたがき」でキーケース作りでした。

**ものづくり体験**

**WOOD FACTORY 武藤工業株式会社**  
主に木製家具、家具、ガラス、サッシ等の設計、取付施工を行っている会社。  
また、その熟練の技術を使用して体に優しい木のおもちゃの製作・販売もされています。

製作体験で作るのはコレ!!  
**木のスポーツカー**

「木のぬくもりを暮らしに」  
この言葉を合言葉として明治 42 年創業以来、「木」を中心に物を作っています。  
木の魅力、個性を上手に活かして作った製品は、長年に誇り感じ込んでいたことで職人向き、色や深み、質が定評あり、よりの産業の自信が出て、すばらしい客員として生き残ります。今まで創業から受け継いだ伝統や、新しい発想を活かし、心を込めて物作りをしています。

**鞆のいたがき 株式会社いたがき**  
タンニンなめし革にこだわり、一つ一つ手仕事で鞆物や革小物を製作している会社。  
札幌・新千歳空港・東京・京都に直営店があります。

製作体験で作るのはコレ!!  
**鞆のキーケース**

創業者の坂田 英三は、15 歳で丁稚に入ってから、靴づくり一筋。「人まを伴にする靴づくり」を目指して、手習いを惜みず、一つ一つ職人の手で作り上げています。鞆物の魂（タンニン）で約 2ヶ月かけてじっくりなめされる革は、硬くて重く加工にも高い技術を要しますが、その分、堅牢で耐擦れしにくく、使う程に馴染んで風合いが増します。



式典と宿泊先のホテルから約 20 分間バスで赤平に移動しましたが、その車中でガイド役の RAC メンバーは沿線の赤平の良いところを熱く語りました。

翌日の閉会式が終わって帰るメンバーが口々に「赤平が好きになったよ。また遊びにくるよ」と言って帰ったのが印象的でした。

この、自分の街をよく知り自慢できる心こそがまちづくりの第一歩だと思います。

会場に戻っての懇親会も和やかに交流が深まるように工夫されたプログラムで盛り上がり  
ました。



二日目のプログラムはスポーツ交流ということでミニバレーが行われ、若干二日酔いのメ  
ンバーが居たにも関わらず全力で戦ったのが印象的でした。



閉会式では次回開催地句である 2500 地区清水真衣地区代表に開催記念証が引き継がれ和  
やかに閉会しました。

ロータリーでも両地区の合同に事業や大会などを行いたいと、かつてから言われていていま  
だに実現していません。

小規模ながら見事な大会運営を見るにつけて、いつか彼らが成長してロータリアンになっ  
た時に実現するかもしれないと期待します。

集合写真

